



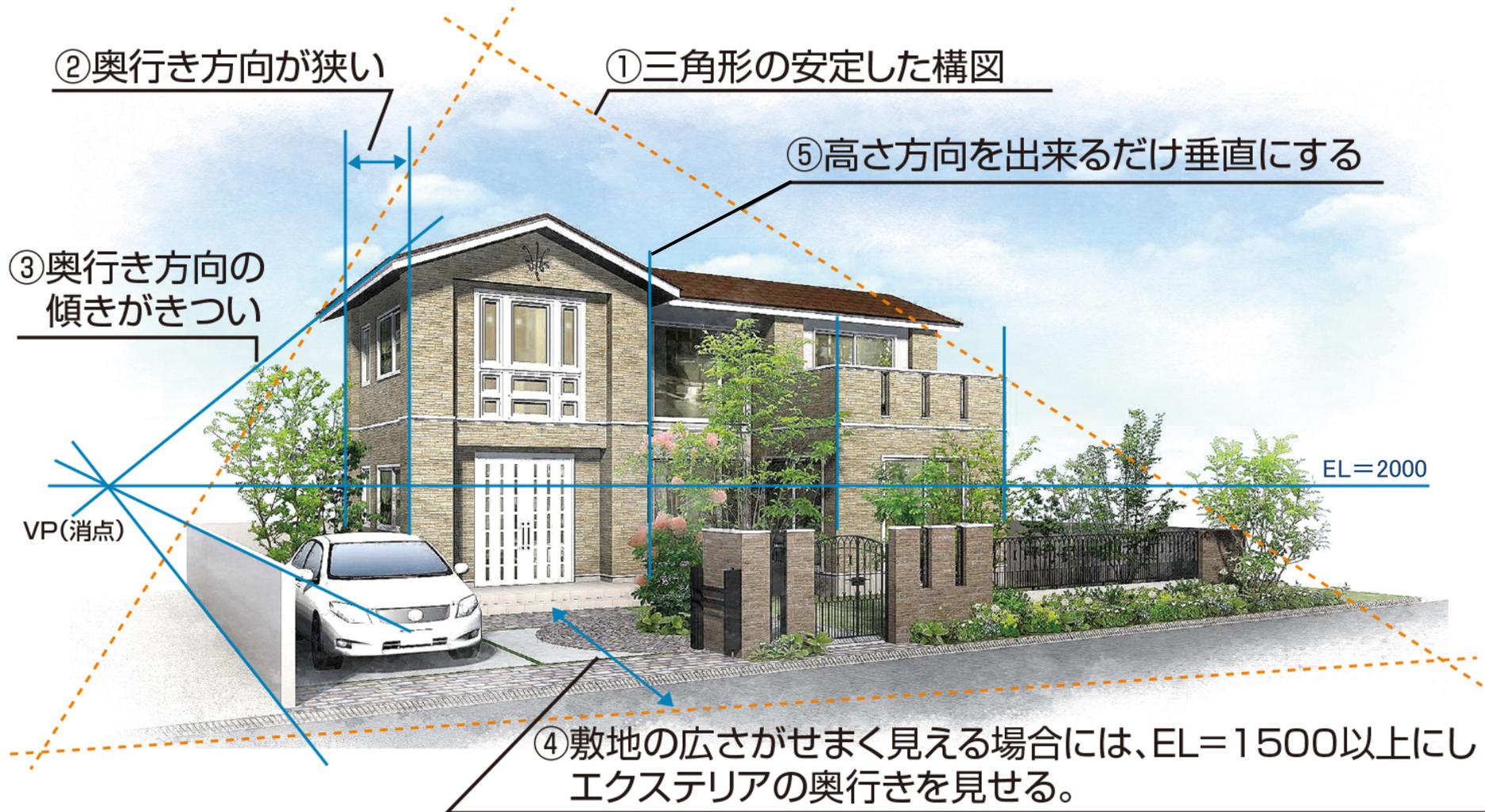
パースを美しく仕上げるアングルの秘訣&知っているようで知らなかった実践的な遠近法!

パーステクニック アップセミナー

講師: 松下 高弘氏
主催(株)ユニマットリック

**第一部 美しいパースを作るために
～見栄えのよいアングル～**

1.住宅+エクステリアの5つのポイント



2.エクステリアのみの場合

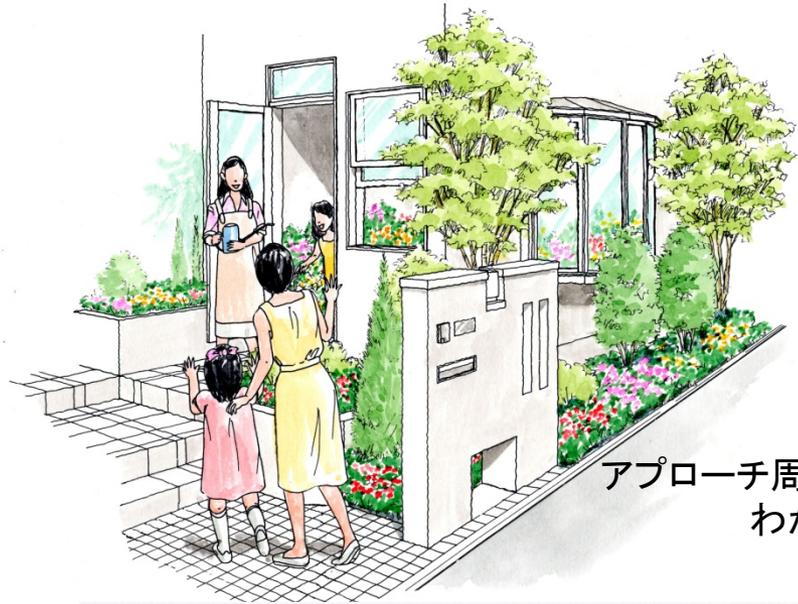


▲一点透視図法(一消点)

木とレンガのアーチが印象的なアングル。

Point

設計のコンセプトやアーチ・門柱などの部分デザインの形状が活かされるアングルにするため、一消点と二消点を使い分ける。



アプローチ周りが
わかりやすい

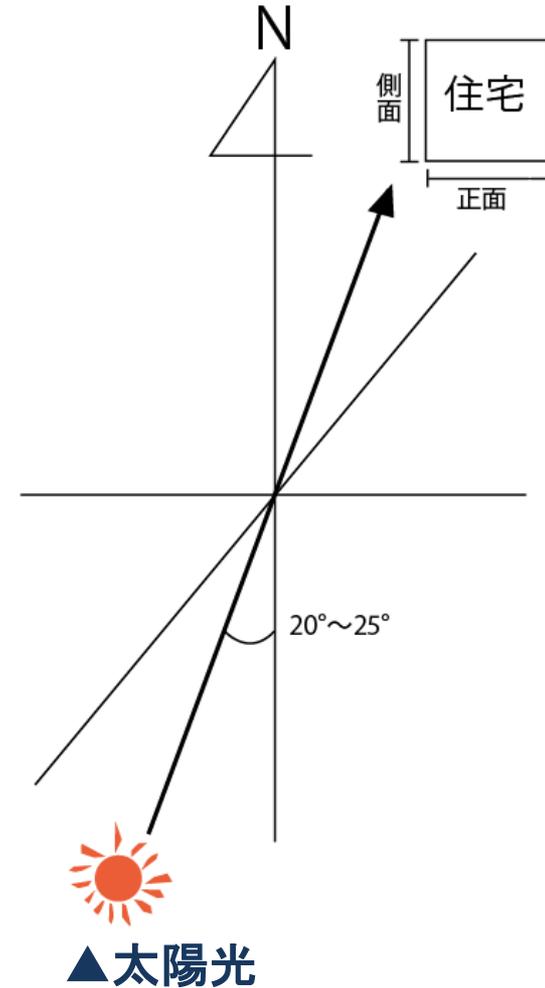
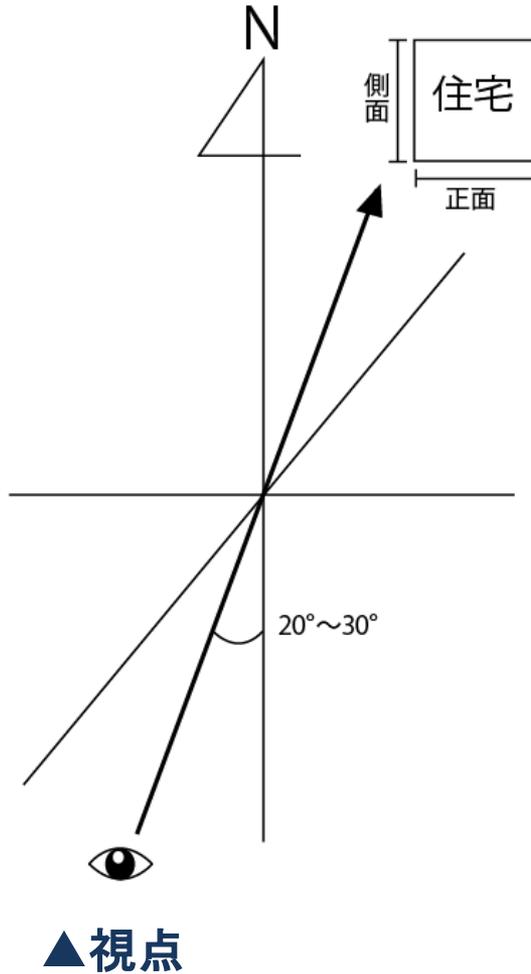


アプローチと主庭を見せる

▲二点透視図法(二消点)

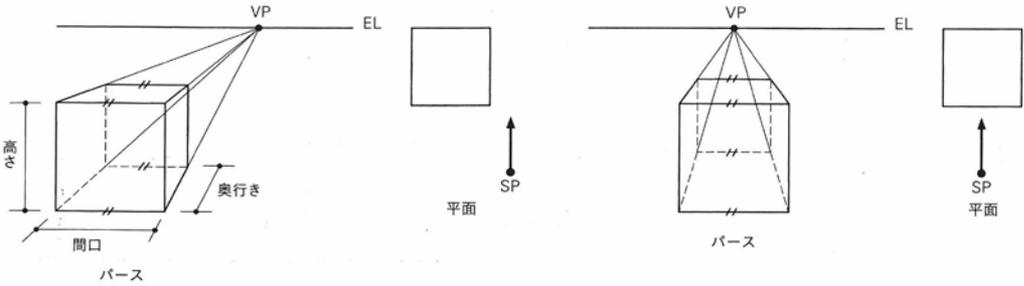
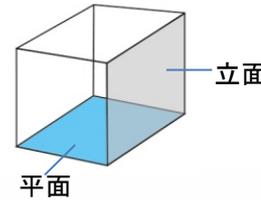
3. 視点・距離・角度・太陽光の設定

スタンディングポイント	視点方向	正面より $20^{\circ} \sim 30^{\circ}$
	視点高さ	2.0m~2.5m程度
	視点距離	20m~25m程度
太陽光	高度	$30^{\circ} \sim 35^{\circ}$ 程度
	方位	正面より $20^{\circ} \sim 25^{\circ}$ 程度

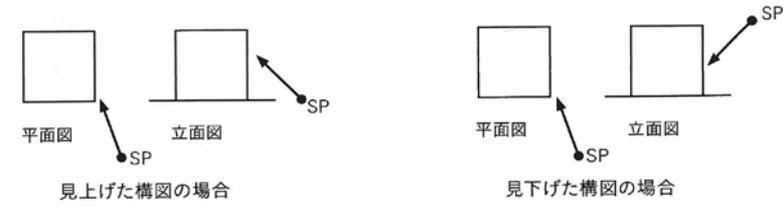
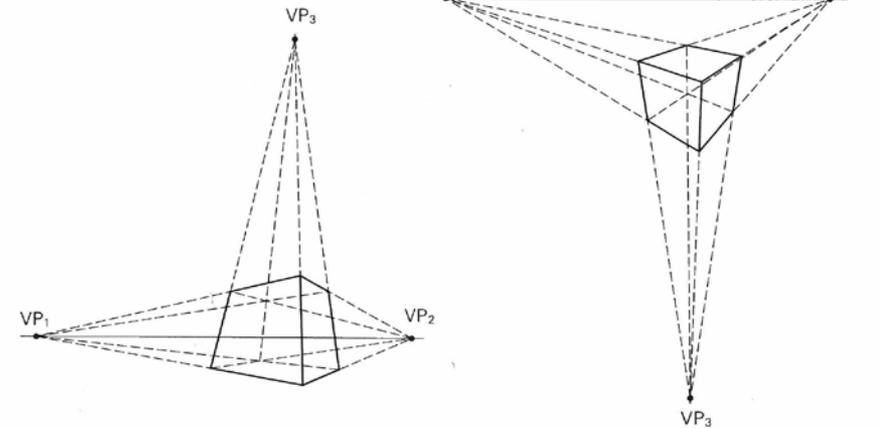


※南面正面、西面側面の例

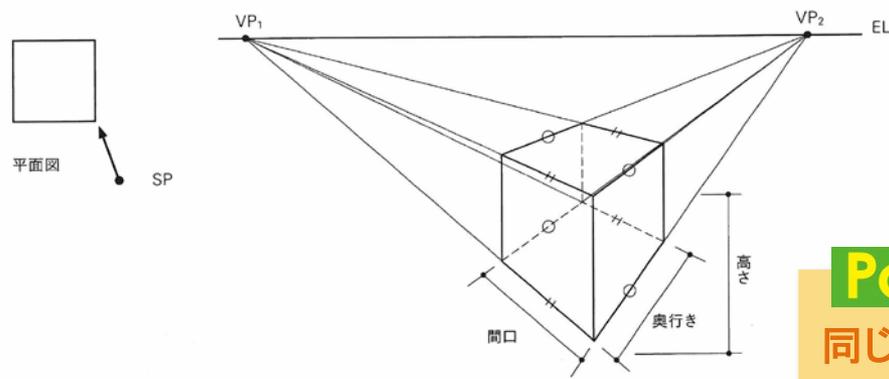
4.透視図の効果



▲一消点 立面に奥行きがついた透視図



▲三消点 ゆがみが生じ立方体に見えにくい透視図



▲二消点 左右の立面が見える透視図

Point

同じ立方体でも見る方向の違いで見栄えが変わります。

一般のプレゼンでは特殊な演出効果を除き、ゆがみの気にならない一消点や二消点の角度をオススメします。

第二部 美しいパースを作るために
～知っているようで知らない遠近法～

1. 構造物や添景物で遠近法を取り入れる3つのポイント

1 線遠近法 住宅の奥行き感を出す



1 線遠近法

手前より奥の物が小さくなる透視図。

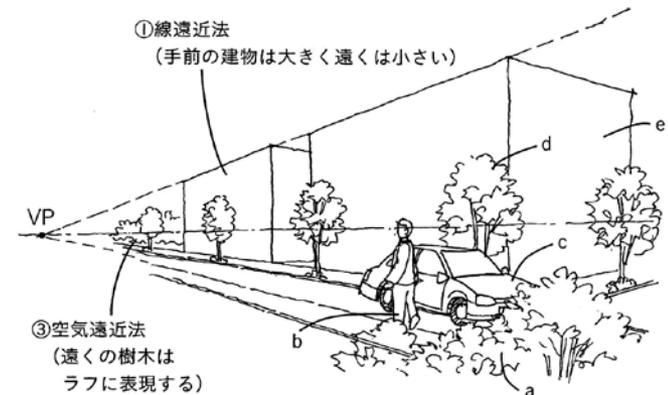
2 重ね遠近法

手前から奥に物を重ねて奥行きを出す。

3 空気遠近法

手前の物ははっきりと、奥の物はぼかす。
植栽は手前より奥を薄く淡い青色系にする。

2 + 3



3 空気遠近法

- ・淡い青系の緑
- ・遠景をぼかす

2 重ね遠近法

- ①門扉
- ②植栽
- ③門扉
- ④住宅

②重ね遠近法

- (a~eの順に重ねて遠近感を出す)
- a 近景の植栽
 - b 人
 - c 車
 - d 街路樹
 - e 建物

2.色相環を意識した背景の色と表現

a.植栽で遠近感を出す方法～近景・中景・遠景の配色と効果～



遠景

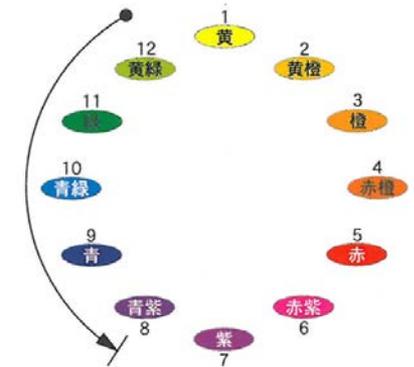
淡い青緑、青緑よりの緑。

中景

青緑や緑。

Point

手前から奥の距離が遠い場合は近景を「黄緑」に。遠景を「淡い青緑」のように、遠くを淡い青色系にする。



▲色相環

Point

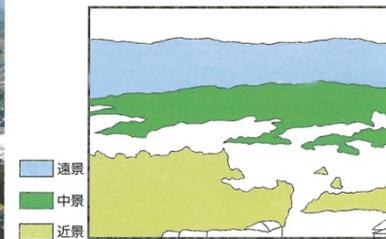
手前と奥の差が少ない場合、手前を明るく奥を暗くする「明度遠近法」が効果的です。

近景

明るい黄緑や緑。



近景、中景、遠景のある風景



近景、中景、遠景の分布図

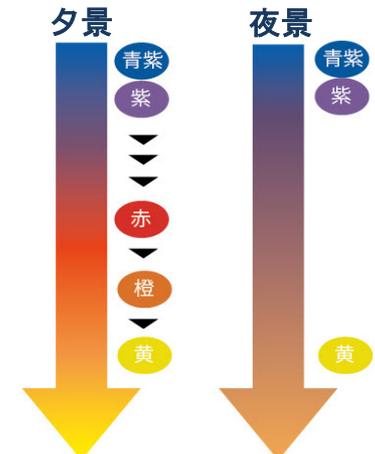
2.色相環を意識した背景の色と表現

b.夕景・夜景の表現

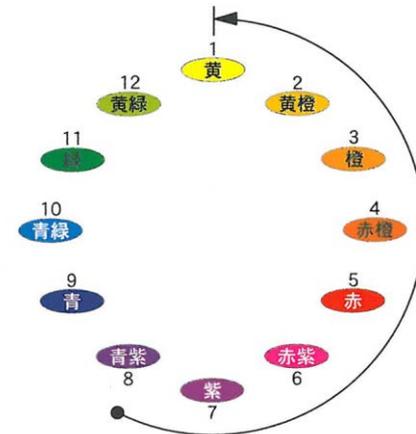


Point

- ①窓ガラスの色・光具合
- ②植栽の色と光の効果
- ③水面の光り具合
- ④背景(夕景)のグラデーション



▲グラデーションの効果



▲色相環



青紫から橙、黄に変わっていく夕焼け